男女共同参画情報紙

〈座間市シンボルマーク〉

令和２年 第26号 3/15

あくしゅ

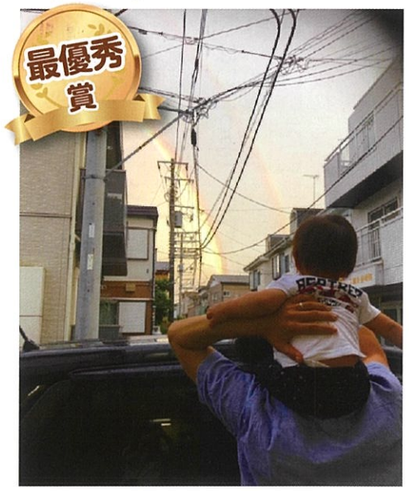
《発行・編集》
座間市男女共同参画推進委員会
座間市市民部広聴人権課

〒252-8566
神奈川県座間市緑ケ丘1−1−1
☎046（252）8087(直)
FAX046（252）0220

2019 カジ イイ 男（クメン クンイ） IN ZAMA フォトコン結果発表

男女共同参画社会とは？

男女共同参画社会とは、「男女が、社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、もって男女が均等に政治的、経済的、社会的および文化的利益を享受することができ、かつ、共に責任を担うべき社会」です。
（男女共同参画社会基本法第２条）



ペンネーム つばさママ

タイトル ダブルレインボーの言い伝え

コメント 手術の為、少しの間離れて暮らしていた私たち。久しぶりに家族３人で自宅に戻り、振り返るとダブルの虹が出ていました。これから先の未来に希望が持てた気がしました。

～審査委員のコメント～ 虹を見る親子の姿にほのぼのとした愛を感じます。

最優秀受賞者のコメント

Q1. 受賞された感想は？

我が家の令和初のトップニュースです。パパも待ち受けにしている位、お気に入りの写真がこのような素敵な賞を頂けてとても嬉しいです。これに便乗して、一緒に写っている息子もイイ男になりますように（笑）

Q2. あなたにとって『イクメン』とは？

家事、育児に関わることを「お手伝い」だと思わない人。言わなくても分かる人。基本メインで子育てしている人は不言実行だと思うので・・・
（いつもお仕事お疲れ様の気持ちは忘れずに）

ペンネーム りんご

タイトル スッキリしたよ！

コメント 息子が産まれてから沐浴はほぼ毎日夫が担当してくれています。そんな裸の付き合いからの信頼関係のおかげなのか、息子は夫が大好きで、おむつ替えの最中もこの笑顔です！

～審査委員のコメント～
お子さんの笑顔から日頃のイクメンぶりが感じられます。

ペンネーム yuko.S

タイトル 水も滴るおじいちゃん

コメント いつも遊んでくれてありがとう

～審査委員のコメント～
表情や仕草から二人の仲の良さが伝わります。

ペンネーム 二児の母

タイトル 裁縫男子

コメント 子供の入園に合わせ購入したミシンを使ってみたい！と夫。学校の家庭科以来のミシンと楽しく奮闘する毎日です。子供も、次は何を作ってくれるの？とワクワクしながら見学。写真の後ろの方に写っているのは、以前の趣味のサーフボード。すっかりホコリを被っています。

～審査委員のコメント～
真剣な眼差しから意気込みが感じられます。

イクメン・・・育児を楽しむお父さん
イクジイ・・・育児を楽しむおじいちゃん
カジ男（ダン）・・・家事に積極的に取り組む男性

※コメントは応募者からのコメントを掲載しています。

あの時の高校生は今…インタビューしました

7年前（「あくしゅ第20号」）、「自分らしく生きる」をテーマに、市内の高校生6名による座談会を行いました。その時、参加していただいた佐々木郁哉さんに、当時のことを振り返りながら社会人3年目としての、現在の心境の変化などを伺ってみました。

Q. 座談会に参加した際、感じたことは？また、同年代の人の話を聞いて感じたことなどは？

男女共同参画社会については、中学で勉強した程度の理解で、参加しました。男子生徒側としてお話をさせていただいて、女子生徒側の意見が、とても新鮮でした。

Q. 会社の男女の比率は？

現在システムエンジニアとして働いていますが、会社は男性が多いです。お客様に接する仕事となると、女性が多いですね。同世代では、男女の差は、感じないですが、上司との会話などから、男女の差を感じています。

Q. 具体的にはどんなときですか？

クライアントさんの中には女性に来て欲しいという要望が多いです。優しくて、話を聞いてくれるイメージがあるからでしょうか。ほかには、上司（40代後半）の話の中で、ギャップを感じる事があります。

佐々木（ささき） 郁哉（ふみや）さん

Q. 当時、高校生が社会に出た時に、性別役割分業を前提とした従来型システムへの適応に苦しむことを危惧していましたが、実際はどうでしたか？

さほど違和感は感じていません。会社の広報誌に育児パパの一日や育児ママの一日が紹介されているので、男性も育児休暇を取りやすい環境です。女性にとっても働きやすい職場だと感じています。

佐々木さん、遠方からインタビューのためにおこしいただき、ありがとうございました。

情報紙「あくしゅ」のバックナンバーはこちらから！（PDFでご覧になれます）

様々な相談・支援窓口の紹介「あくしゅインフォメーション」はこちらから！

※QRコードが使用できない方は、座間市 男女共同参画 で検索してください。

第17回 あくしゅフォーラム 開催報告

笑って考える ワークライフバランス ～男性の家事が社会を救う～

今年度は10年間2人の子どもの保育園の送迎を一手に担い、今でも夕食作りを担当するジェンダー論の研究者で、東京大学大学院教授の瀬地山角さんを講師としてお招きし「笑って考えるワークライフバランス～男性の家事が社会を救う～」というテーマで、社会の問題の解決策をお話しくださいました。

瀬地山氏から「現在の高齢者の比率は、2042～2043年ごろの70歳以上の比率と同じ。高齢者の定義を70歳以上に変えてしまえば、高齢化率が上がらずに済む。」つまり、65歳以上であっても社会参加を継続してもらうことで社会の高齢化を食い止められると提案されました。

また、共働き家庭の問題点とそれが及ぼす社会的影響のお話がありました。「共働き世帯において、家事関連時間が男性は週平均で1日46分、対して女性は約5時間。また、6歳未満の子を持つ夫の育児時間が49分で、妻が3時間46分。このいびつな状態をもっと社会的に問題視しなければならない。」といった問題提起から、その理由は、「育児などにかかる労働力は社会的コストとして考えられるが、安価な労働力を求める昨今では社会的コストを押さえられる男性が優遇されている。その結果が少子高齢化となって現れている訳で、男女の家事負担が同じになれば社会がそのコストから逃げることができなくなり健全な社会を構築できる。」と、とてもわかりやすい例えで解説してくださいました。

漠然とした考えしかなかった男女共同参画について、その推進が今後の社会構築に不可欠なものであることが実感できた講演でとても有意義な時間でした。

瀬地山（せちやま） 角（かく）さん

高校生にインタビュー

現代の若い世代が感じている「男女共同参画」とは

今回の特集は市内の高校生5名に男女共同参画社会についてお話を聞いてみました。

～参加してくれた高校生～

座間総合高校
Aさん（2年生 女性）、Bさん（3年生 男性）

相模向陽館高校
Cさん（2年生 女性）

座間高校
Dさん（2年生 女性）、Eさん（2年生 男性）

※令和元年11月に高校ごとに実施

1 慣習

Q. 男らしく、女らしくなど言われますか？

はい（0名）・いいえ（5名）

Q. 「いいえ」と言われましたがそう言われているシチュエーションに出くわしたことはありますか？

Cさん
女の子同士でも「女の子なんだから、かわいい格好しなきゃダメ」とか言われているのを見ます。

Q. それに対してどう思いますか？

Dさん
〝○○らしく〟って何？何故その様に決めつけるのか？と思います。

Q. 異性の羨ましいところはありますか？

Cさん
最近でも話題になりましたが女子のパンプス、ハイヒール問題のように女子は見た目でいろいろ言われ、少し無理をしてでも気を遣わないといけないが、少なからず男子はその様なことがなさそうに見えるので、その点では少しうらやましいと思います。

Dさん
男性は特に運動に力を入れなくても力があったり、運動が出来る人の割合が高いことがうらやましいです。

2 生活

Q. 学校生活において、男女の差を感じますか？

はい（2名）・いいえ（3名）

Q. どんな時に差を感じますか？

Dさん
切り替えの速さに差を感じる。具体的には先生たちとの話のとき、個人差もあるが男子の方が言うことを聞かずにグダグダしている感じがします。

Eさん
自分の話ではないが、マラソン大会の時に男子の方が一周多いので、文化部と運動部で距離を分けた方がいいと言っていた子がいます。

Q. 学校の授業で男女共同参画について、どんな事を教わっていますか？

Aさん
高校の授業ではありません。小学校と中学校の社会の授業で既にあって、自然に身についていると

いう感覚がありますので、高校の授業では特にやる必要を感じません。

Bさん
高校での直接の授業ではありませんが、時事問題として取り扱われることはあります。男女共同参画やLGBTなどについても、多くはありませんが自分で考える機会はあります。また、課題研究の中での選択肢としてはあります。

3 メディア

Q. メディアを見ていて男女の表現について疑問を持つ事がありましたか？

Aさん
番組のMCは男性の方が多く、逆に女性はアシスタント的な役割をしていることが多いように感じていて、少し違和感があります。

Bさん
番組の中心的な役割が男性に多

いように感じています。キャスティングする段階で、もう少し考えて女性視点の考えをもっと発信していった方が良いと思います。また、番組の占いコーナーなどで、「気になる異性」という表現を目にすることがありますが、多様な恋愛のかたちが認められるなか、好意を持つ対象が必ず異性であるかのような表現は相応しくないと感じています。

4 将来

Q. 男の仕事、女の仕事など職種によってイメージがありますか？

Aさん
必ずしも良いことだとは思いませんが、力仕事や危ない仕事は男性、政治家などで高い地位にいるのも男性、そして現状それをフォローする立場にいるのが女性というイメージはあります。

Bさん
例えば、建設業は力仕事が多くあるので男性の仕事というように、性別によって得意・不得意がある業種については、そのイメージはありますが、「女性起業家」とか「女性パイロット」などのような職業を表す言葉は好きではありません。「男性起業家」とはわざわざ言いませんし、職業を表すのに「女性」という言葉をつけることが男女共同参画の発展を止めているようにも感じます。

Q. 自分らしい生き方とは、どのように考えますか？

Aさん
人の考えに流されないで自分でやりたい事、やるべき事をしっかりとやっていく事だと思います。

Bさん
性別や世の中の価値観や世間の目を気にすることなく、自分自身の本当にやりたいことを優先していく姿勢こそが自分らしい生き方だと思います。

Cさん
何にも縛られないで自分の好きなことを追求して生きて行ければ良いのではないかと思います。

Dさん
古い偏見や差別、イメージは勝手に人が作ったものであり、それと異なる選択が自分の選びたい生き方ならば、自信を持つべきだと思います。自分らしい生き方を知ると同時に他者の「自分らしさ」を尊重することも必要だと思います。

Eさん
周りに流されず、自分の意見をしっかり持つことだと思います。

Q. その他に何かあれば

Cさん
男女にはっきり分けるのではなく中性か、その他のカテゴリーがあってもいいのではないかと思います。友達と話をしていても「そこは男女をはっきり分けなくてもいいのでは？」と思うことがあったりして、そういう中性（中立的）な目線からお話しできることがあれば良いなと思います。

今回、お話を伺った高校生は、みなさん積極的に自分の言葉でお話してくださいました。
「男らしさ・女らしさ」などという言葉自体、無意味という認識で「今の環境の中で、男女の違いは二の次で、個人として相手の嫌がることはしない、相手を尊重してコミュニケーションを取る」との発言がありました。男性、女性の区別なく、個人として尊重するという認識がしっかり身についていると感じました。
また、社会に対する見方もシビアで、多様な考え方についても理解しており、教育の力も感じました。
インタビューに対応してくださった先生方、生徒のみなさん、ありがとうございました。

男女共同参画推進委員会

活動報告 令和元年度

6月22日（土）
『あくしゅフォーラム』の開催
市民文化会館（ハーモニーホール座間）小ホール
講演 『笑って考えるワークライフバランス
～男性の家事が社会を救う～』
講師 瀬地山 角氏
（東京大学大学院総合文化研究科教授）

6月23日（日）～29日（土）
『男女共同参画週間』
市民ホールの特設啓発ブースで、男女共同参画の意識や考え方についてのチラシと啓発物品を配布

6月25日（火）
『男女共同参画社会づくりに向けての全国会議』
東京国際フォーラムにて行われた、内閣府男女共同参画局主催の会議に出席

8月30日（金）
委員研修
国立女性教育会館 NWEC（ヌエック）開催の男女共同参画推進フォーラムに参加

11月17日（日）
座間市民ふるさとまつりで、男女共同参画に関する市民の皆さんへの意識啓発、イイ男フォトコン応募作品の掲示

令和2年3月15日（日）
情報紙「あくしゅ」の発行
企画・編集は令和元年夏ごろから随時